



施策・事務事業マネジメントシート【令和8年度】

1 施策の基本情報(Plan)

施策名		14 地域コミュニティの醸成
目的	対象	市民、地域コミュニティ、市民活動団体
	意図	コミュニティ活動が活発に行われるようになる 地域の一員としての連帯感を持つことができる
施策の方向		市民が地域活動等に積極的に参加し、市民同士の交流が促進できるよう、地域コミュニティの形成を支援します。また、地域の課題等について、自分たちで取り組み、解決できるよう環境づくりを行うとともに、自分のペースでゆるやかにつながるができる地域コミュニティの醸成を図ります。

2-1 施策全体の考察①（施策の目的、方向に対する考察）

施策の目的、方向に対する考察（PDCAサイクルにおけるCheck・Action）
・地区協議会について、地域の自主性を尊重した働きかけにより、第二小学校地区で新たに地区協議会が設立された。 ・地区協議会については、未設立の深大寺小学校地区において、丁寧に地域の意向確認を行っている。 ・自治会支援の取組として、「設立支援」「加入促進」「運営支援」に整理したうえで、「加入促進」を強化するため、新たに自治会活性化補助金を拡充するなど、自治会を取り巻く課題解決に向けた支援を行った。 ・施設の管理運営については、設備の経年劣化への対応など、公共施設マネジメント計画に基づき、計画的な維持保全に取り組むとともに、施設の機能向上や魅力の向上に取り組む必要がある。

2-2 施策全体の考察②（まちづくり指標の推移／考察）

まちづくり指標	単位	基準値 (基準年度)	実績値 (目標年度)			目標値	指標の推移	考察 (目標達成の要因、課題、目標達成に向けた今後の取組の方向等)
			(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)			
市民同士のつながりによる地域活動が行われていると実感している市民の割合	%	33.0 令和4年度	27.0	25.2	26.1	50.0 令和8年度	○	今後も自治会や地区協議会など、コミュニティ団体の現状や課題を踏まえた地域活動の支援に取り組む必要がある。
地域コミュニティ施設の利用者数	人	22万7969 令和3年度	33万8566	36万5149	35万4375	30万 令和8年度	◎	・コロナ後のコミュニティ活動活発化や令和4年度に開館したふじみ交流プラザの利用者数増により増加傾向にあるが、令和7年度は改修工事实施のための長期休館の影響を受け、やや減少した。
地域活動に参加している市民の割合	%	15.3 令和4年度	20.4	18.4	17.2	33.0 令和8年度	▼	・コロナ禍の基準値を上回っているものの、引き続き、「じよいなす」や「ちょみっと」など、様々な広報媒体を活用した地域活動の紹介による参加促進や活動場所の確保に努める必要がある。

※ ◎：目標達成 ○：目標値を未達成（前年度より向上した） ▼：目標値を未達成（前年度より低下した） ⇒：目標値を未達成（前年度と同じ又は前年度数値未把握） —：数値未把握（調査未実施など）

3 施策を構成する基本計画事業等の取組実績／今後の方向

■14-1 地域コミュニティの活性化に向けた支援

No	基本計画事業名	令和7年度取組実績(Check)	令和7年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
52	地区協議会の設立と支援	☒ 計画どおり ☐ 計画前倒し ☐ 計画遅れ	・第二小学校地区：令和7年6月に市内19番目の地区協議会が設立 ・市内全19の地区協議会に対し、防災体験学習施設への合同視察を実施するなど地域間連携に向けた取組を推進 ・各地区協議会を担当する職員を配置し、各地区の状況に応じた運営支援を実施	☒ 現状継続 ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 財政面改善 ☐ 参加と協働改善	・地域コミュニティの形成に向けて、地域の主体性を尊重しながら、深大寺小学校地区における地区協議会への理解促進を図るとともに設立支援を行うことで、全20小学校区に地区協議会を設立する。 ・市民の小学校区内・間のネットワーク組織の必要性についての理解を深め、地域特性に応じた地区協議会の運営支援を図るとともに、必要に応じ、地区協議会間の連携に向けた体制づくりを検討する。

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)	今後の取組の方向(Action)
①自治会支援の取組として、「設立支援」「加入促進」「運営支援」に整理することで、それぞれの課題を整理し、具体的な支援策を実施 ②自治会への加入については、新たに自治会活性化補助金を立ち上げ、支援を充実 ③「既設自治会の活動支援」については、自治会運営におけるDX化に向けた手段の一つとして、ラインワークス活用の提案を行うとともに、事前準備から運用をサポート ④調布市自治会連合協議会と協働による「自治会といっしょに！キャンペーン」を開催し、自治会活動を広く周知したほか、個々の自治会の課題解決に向けて、ホームページ立ち上げ講習会や相談会を実施	①②③④地域コミュニティの基盤となる自治会については、依然として地域連携の基礎となる組織であり、3つの自治会支援の取組を継続して実施する。あわせて、調布市自治会連合協議会はもとより、地域のネットワーク組織である地区協議会をはじめ、学校関連団体と自治会の役割について理解を深めることで、今後も自治会を取り巻く課題解決に向けた取組を推進する。

■14-2 地域コミュニティ活動拠点の充実

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)	今後の取組の方向(Action)
①地域福祉センターの利活用促進に向けた取組として、学習室開放事業を実施 ②新たに、子ども・若者世代を対象とした使用料減免制度を創設 ③公共施設マネジメント計画に基づく計画的な施設改修の実施（深大寺地域福祉センターエレベーター設置工事など）	①②③近年の多様な生活様式やニーズを踏まえたコミュニティ活動に対応した活動拠点を提供するため、施設のバリアフリー化と併せた施設改修を実施するとともに、若者など新たな利用者が活動の場とすることで、多世代が利用し、交流を図れる魅力的な施設を目指す。

■14-3 地域コミュニティ活動への参加の促進

No	基本計画事業名	令和7年度取組実績(Check)	令和7年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
53	市民活動支援センターの運営	☒ 計画どおり ☐ 計画前倒し ☐ 計画遅れ	・市民活動のきっかけづくりとして、第12回目となるまち活フェスタを開催 ・中間支援組織としてのコーディネート機能として、各種団体からの運営に関する相談などに対応	☐ 現状継続 ☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 財政面改善 ☐ 参加と協働改善	・まち活フェスタについては、えんがわフェスタとの発展的な一元化を図る。親和性の高い目的型のイベントと融合することで効果・効率的な実施を図るほか、調布駅前イベント広場を追加で活用し規模を拡大する中で、国領駅前の市民プラザあくろすと調布駅前イベント広場をつなぐ仕掛けを検討する必要がある。 ・市民活動支援センターにおける市民活動のきっかけづくりや結び付きなど、中間支援組織としてのコーディネート機能を生かした地域活動への参加促進を図る。 ・地域活動スペースの効果的な利活用の推進に取り組む。

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)	今後の取組の方向(Action)
①ちょうふコミュニティサイト「ちょみっと」について、地域活動のコラムや紹介動画の充実と併せて、地域活動情報紙「じょいなす」と連携した地域活動情報を発信 ②地域活動情報紙「じょいなす」は、地区協議会特集として全戸配布（発行部数 13万5000部）	①②多様な地域活動を効果的に紹介することで、新たなコミュニティが育まれるよう、「ちょみっと」や「じょいなす」など広報媒体を効果的に活用した情報発信に取り組む。

4 施策の推進、成果向上の視点（４つの視点）を踏まえた令和７年度の実績及び令和８年度の具体的な取組

デジタル技術の活用	共創のまちづくり
・ふれあいの家に物理鍵を不要とする電子錠（スマートロック）の導入【令和７年度・８年度】 ・ふれあいの家におけるインターネット予約システムの導入検討【令和８年度】 ・地域福祉センターにおけるキャッシュレス決済の導入検討【令和７年度・８年度】 ・自治会への情報提供のデジタル化に向けた試行実施【令和８年度】	・地区協議会及び調布市自治会連合協議会と連携した地域コミュニティの推進【令和７年度・８年度】 ・多様なコミュニティ団体の連携によるまち活フェスタの開催【令和７年度】 ・多様なコミュニティ団体の連携による新たな市民交流事業の効果的な実施【令和８年度】 ・自治会など地域住民を主体とした指定管理者制度によるふれあいの家の管理運営【令和７年度】 ・自治会など地域住民を主体とした指定管理者制度によるふれあいの家の管理運営の新たな担い手の模索【令和８年度】
脱炭素社会の実現	フェーズフリー
・ふじみ交流プラザによるクールシェア事業の実施【令和７年度・８年度】 ・ふれあいの家におけるＬＥＤ化の推進（地域福祉センター・ふじみ交流プラザ・市民活動支援センターはＬＥＤ化完了）【令和８年度】 ・コミュニティ施設へのＥＶ車両用の急速充電器の設置【令和７年度】	・公共施設マネジメント計画に基づく大規模改修に加え、修繕や設備更新の際には、非常時の利用も想定した設備を検討・配置【令和８年度】